



2023年10月20日

各 位

会社名 新光電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 倉嶋 進
コード番号 6967 東証プライム市場
問合せ先 経営企画室長 清野 貴博
Tel(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 時田 隆仁
コード番号 6702 東証プライム市場

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	112,000	8,000	8,000	6,000	44.41
今回修正予想 (B)	105,100	11,400	14,000	9,700	71.79
増減額 (B-A)	△6,900	3,400	6,000	3,700	—
増減率 (%)	△6.2	42.5	75.0	61.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	157,005	50,952	54,649	37,873	280.34

2. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	261,000	35,000	35,000	24,000	177.63
今回修正予想 (B)	230,000	35,000	35,000	24,000	177.63
増減額 (B-A)	△31,000	0	0	0	—
増減率 (%)	△11.9	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	286,358	76,712	78,755	54,488	403.32

3. 修正の理由

半導体市場は、需要減少の底打ちが見られるものの、世界的なインフレの継続、米中対立の影響ならびにパソコン、サーバー、スマートフォン向け需要の低迷や在庫調整の長期化などにより、市況回復が遅れ、厳しい環境が継続しております。

2024年3月期第2四半期連結累計期間の当社業績は、パソコン、サーバー向けのフリップチップタイプパッケージや半導体製造装置向けのセラミック静電チャックの受注が低調に推移したことなどから、売上高は予想を下回る一方で、為替相場が想定より大幅な円安傾向で推移したことなどにより、利益面において、予想を上回る見込みとなりました。

つきましては、このような状況をふまえ、2023年4月27日に発表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値を修正いたします。

2024年3月期通期につきましては、今後、フリップチップタイプパッケージを中心に受注は増加傾向を示すことが想定されるものの、半導体市況の本格的な回復は年初予想より時間を要することが見込まれます。これらにより、各製品の売上が想定を下回る一方で、為替相場の動向をふまえ、第3四半期以降の想定レートを1米ドル=120円から135円に見直したことなどにより、2023年4月27日に発表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想数値を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上